

家族と共に子どもの育ちを支える
医療を目指して



名古屋大学医学部保健学科
看護学専攻 奈良間美保

「健康」とは

- 健康とは身体的・精神的・霊的・社会的に完全に良好な動的状態であり、たんに病気あるいは虚弱でないことではない
(WHOによる定義)

子どもの「健康」とは

- 家族や社会とのつながりのなかで、身体・心理・社会的な存在として、それぞれの健康レベルに応じて、健やかな成長・発達を遂げること

(奈良間, 2007)

子どもと親の相互作用



健康の維持・改善
成長発達

合図・反応

相互作用

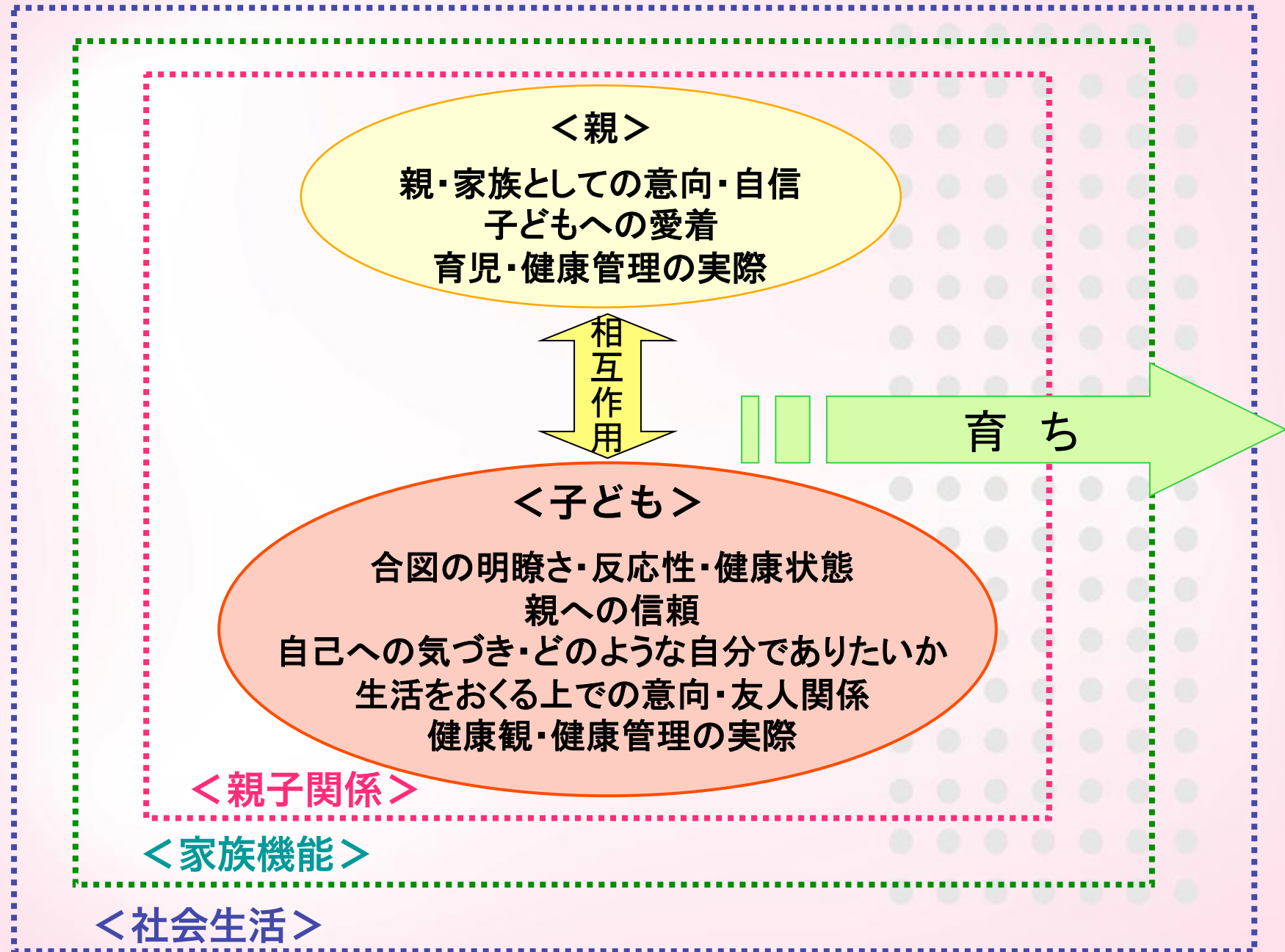
ケア



養育
自信・達成感
愛着

(バーナードモデル参考)

親子の相互作用と子どもの育ち



小児在宅ケアガイドライン開発プロジェクトの取組み

【理念】

子どもや家族とケア提供者の間で**相互に有益なパートナーシップ**を築き、家族と共に**子どもの育ちを支える医療**を推進する

【医療者の支援・ネットワーキング】

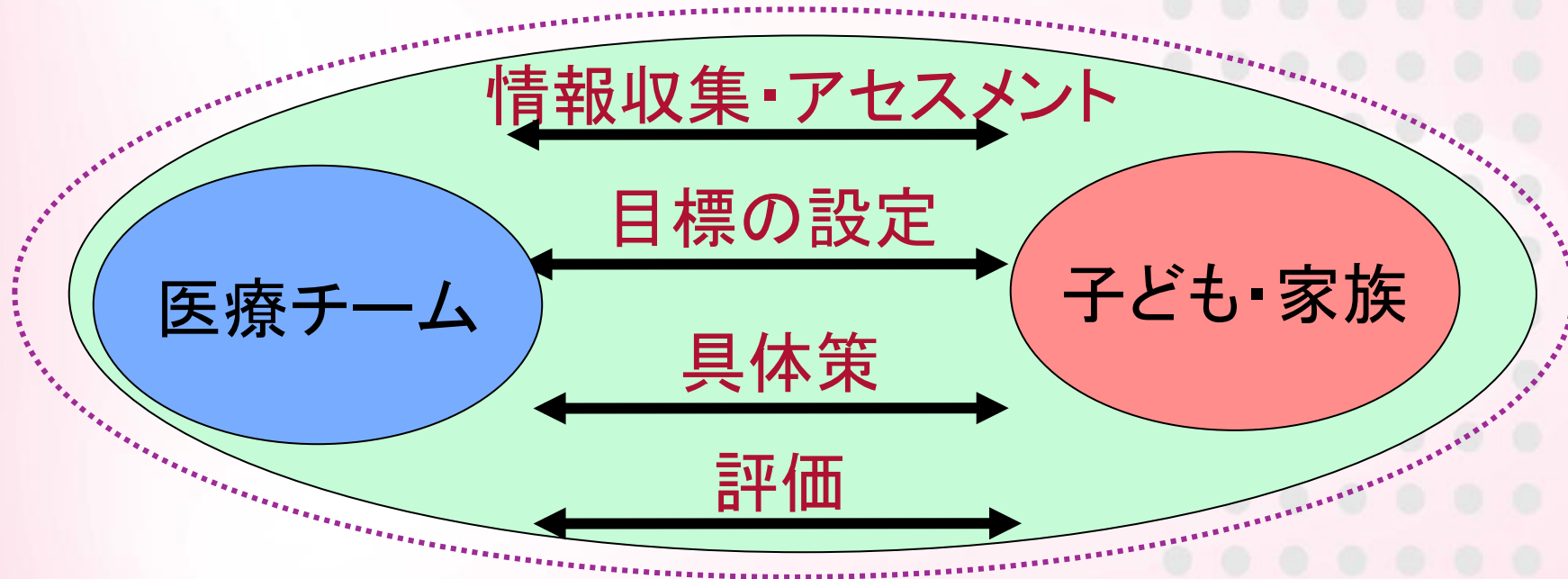
小児在宅ケア研究会活動
小児在宅ケアガイドラインの開発
看護師・多職種協ネットワーキング

【患者・家族会との協働】

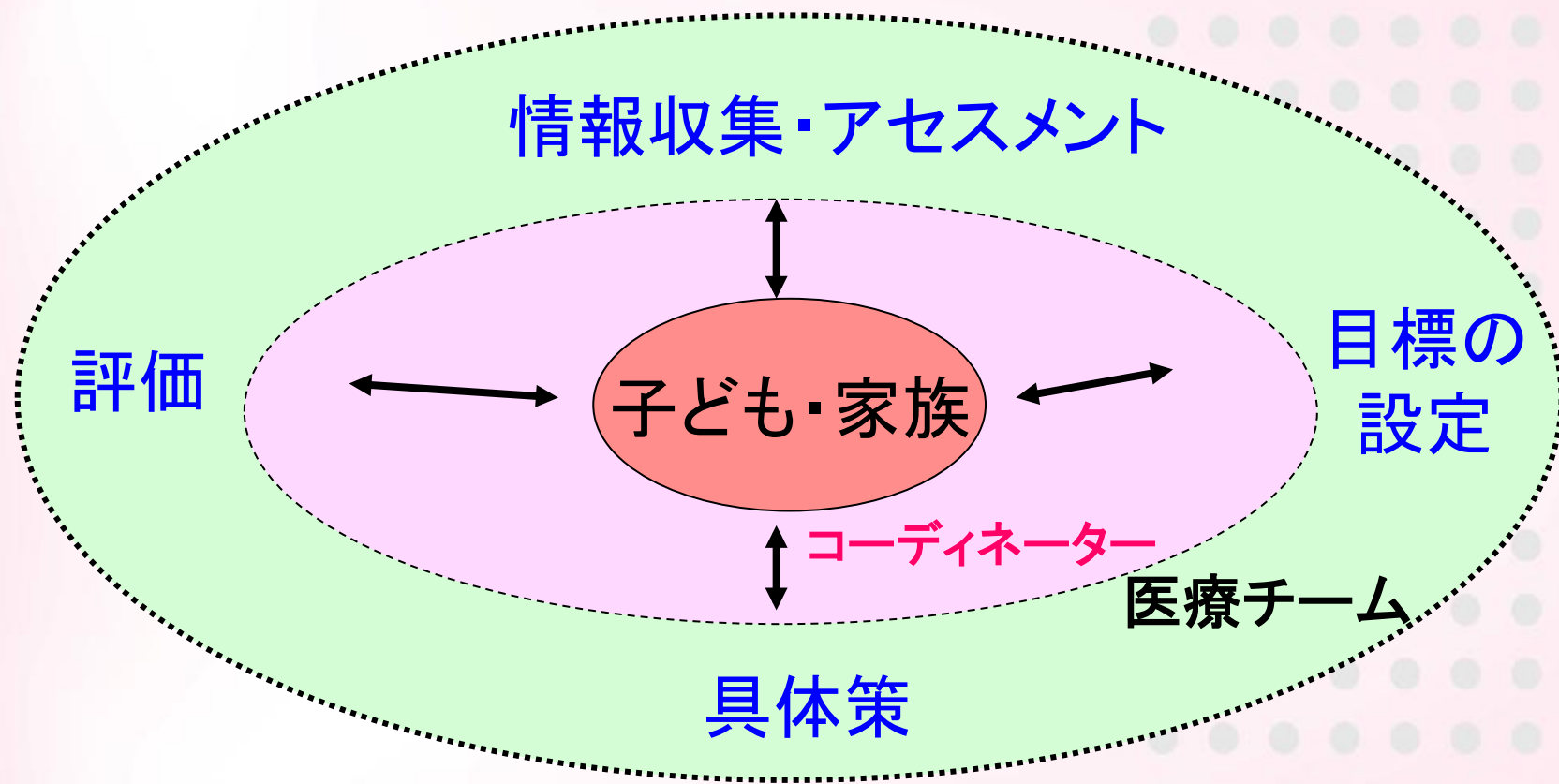
生活相談
子ども・家族が集う場の支援



これまでの患者・家族参加型医療モデル



患者・家族主体の協働型医療モデル



主要概念:

尊厳・尊重

情報共有

参加

協働

Patient- and Family-Centered of Care の定義
(HOSPITALS MOVING FORWARD WITH PATIENT- AND FAMILY-
CENTERED CARE SEMINAR OCTOBER 2006)

- ❀ヘルスケアを計画・提供・評価する一つのアプローチとして、ヘルスケア提供者、患者、家族の間で**相互に有益なパートナーシップ**を築くこと
- ❀ **尊重・尊厳、情報共有、参加、協働**を主な概念として患者・家族の意向を尊重し、全ての情報を共有し、患者・家族自身が望むレベルで医療チームの一員として参加し、医療者と協働すること
- ❀ 期待される成果
 - 健康状態の改善
 - 資源の効果的な配置
 - 患者と家族の満足度の向上

子どもと家族を主体とした医療者との協働による小児在宅ケアガイドラインの開発 ～看護師と家族への質問紙調査～

目的：子どもの在宅ケアを意識した時から、在宅移行後までの子どもと家族の状態と、子どもと家族を主体とした医療者との協働を明らかにする

対象：入院中に医療的ケアを取り入れた後、家庭で生活する子どもの養育者、受け持ち看護師

「子どもと家族を主体とした医療者との協働」とは
子どもや家族の意見や希望が大切にされ、情報が必要な時に適切な方法で提供される中で、退院に向けたケアプランに、子どもや家族と医療者が一緒にとりくむこと

子どもと家族を主体とした医療者との協働の実際 ～看護師と家族の回答～



看護師:「いつも実施している」との回答が多い項目

(回答:「いつも実施している」～「全く実施していない」)

「自宅に帰った後で、確認やアドバイスが必要な時の連絡先を知らせる」
(52.1%)

「ケアや情報提供においてプライバシーを保護する」(48.5%)

「病院に来ている時には、『親』として迎えている」(40.7%)

家族:協働の実施について「とてもそう感じた」との回答が多い項目

(回答:「とてもそう感じた」～「全くそう感じなかった」)



「病院に来ている時は『親』として迎えられている」(42.5%)

「治療やケアに関する決定が行なわれる時には、子どもの親が、医療者と一緒に決めている」(40.0%)

「自宅に帰った後で、確認やアドバイスが必要な時の連絡先について知っている」(32.5%)

子どもと家族を主体とした医療者との協働の意向

～看護師と家族の回答～



看護師:「とても大切」との回答が多い項目

(回答:「とても大切」～「全く大切でない」)

「子どもの身体的なことだけでなく全体を見る」(69.5%)

「いつも子どもや親の心配事に配慮する」(68.3%)

「子どもと家族が必要とした場合、一貫して、サービスやサポートを紹介する」(65.3%)

家族:「とても希望する」との回答が多い項目

(回答:「とても大切」～「全く大切でない」)

「病棟は、巡回、勤務交代、規則やその緊急事態を含めて、

1日24時間家族に開放されていて、家族を迎えている」(55.0%)

「子どもの退院に向けて、一緒に準備する医療者が一人は紹介されている」(52.5%)

「親の気持ち、強み、大切にしていることが尊重されている」(52.5%)



まとめ

《子どもと親の相互作用を支える》
《子どもと家族が主体となることを、
専門職として、チームとして大切にする》
《家族と共に、子どもの育ちを支える》

子どもと家族が主体となる
医療(社会)のあり方を探り、実践すること